

*梅雨っばいですね。前回のLCAF通信からまたまたひと月が過ぎてしまいました。

//// I N D E X //////////////////////////////////////

- ・LCA 関連ニュース……「CFP 実践ガイド」が出ました。
- ・LCA の実務 mini3……カットオフは出力が重要
- ・LCAF からお知らせ…2023 年度 LCAF 初級研修と中級研修
- ・編集後記………庭仕事

■■■ LCA 関連ニュース：「CFP 実践ガイド」が出ました。■■■

これは3月に発行された経済産業省と環境省の「CFP ガイドライン」の別冊として環境省が主導して作成したものです。

環境省プレスリリース https://www.env.go.jp/press/press_01576.html

掲載 URL 企業の脱炭素経営への取組状況 | 地球環境・国際環境協力 | 環境省 (env.go.jp)<<https://www.env.go.jp/earth/datsutansokeiei.html>>

2022 年度に実施した CFP の事例を、CFP ガイドラインに整合する形で紹介しています。消費者向けの製品が主となっています。企業間の CFP データの受け渡しという側面が弱い気もしますが、CFP の実施方法が平易な言葉で紹介されています。CFP ガイドラインの検討会の委員長として私も協力しました。ご意見をお寄せください。

■■■ LCA の実務 mini 3：カットオフは出力が重要 ■■■

LCA の実務 mini1 で今はデータベースが充実してきたので、カットオフせずに似ているもので代用することが良く行われることを書きました、上記の「実践ガイド」にも、これを書き込んでもらいました。

カットオフは素材や部品などプロセスへの少量の数多い入力がある時に話題になることが多いのですが、実は出力のカットオフがとても重要です。データベースが充実してきたので、たとえば「気候変動」の評価で温室効果ガス (GHG) の排出量をインベントリ分析すると、どこで排出されたか不明な細かな温室効果ガスがたくさん計算されて出てきます。インベントリ分析では、どこで何がどれだけ出ているかを分析することが求められるので、これをそのまま報告書に書くことはできません。主要な温室効果ガス (もちろん CO2 ですね) の排出源を明らかにして、それよりとても少ない温室効果ガスをカットオフする作業が必要になります。

LCA や CFP の公表されている事例を見ると、LCA のソフトウェアを使って算定される「気候変動」の結果をそのまま使っている事例が時々あります。IDEA のエクセル版でも気候変動の LCIA の結果を簡便に見ることができるよう工夫されています。しかし、この方法は、あくまでも簡略化された方法なので、どのような GHG がどこで排出されているか聞かれると答えに窮することになります。実務としては、主要な GHG を特定し、その他の GHG をどこまで詳細に見極めるか考え、重要ではない GHG を「カットオフ」する作業が必要になります。

■■■ LCAF からのお知らせ ■■■

○LCAF の 2023 年度の研修日程です。

LCAF : LCA 初級研修は、6月27日(火)と6月28日(水)の午前です。

そのほか、9月、1月にも実施する予定です

LCAF : LCA 中級研修は、8月と12月の2回実施します。

○5月30日(火)にホームページをリニューアルしました。見やすくなったと思いますが、ご意見をください。

■■■ 編集後記 ■■■

今年は梅雨入りが早いようです。梅雨入り前に春咲きのフリージア、ムスカリ、チューリップの球根を掘上げました。この冬はとても寒く、プランターの球根が凍ってしまい、うまく育ちませんでした。

育てると言えば、LCA の人材育成のための企業研修の申し込みが多くなってきました。大手の

コンサル企業さんや監査系法人さんが LCA や CFP を実施または検証する人材を求めているようです。この背景には、産業界での LCA/CFP の実施が盛んになっていることがあると思います。

LCAF でも LCA/CFP の支援や検証を行っていますが、様々な産業の支援や検証を一人で行うのはとても難しいことです。それぞれの産業の特殊性を理解しなければならないことに加え、一つ一つの LCA/CFP に個別な問題が含まれている場合がほとんどです。これに対応するためには、それぞれの個人の専門性を生かしながら、他の分野への適応を話し合う「皆で立ち向かうネットワーク」が必要になります。LCAF では定期的に研究主幹の会議を開き問題を共有し、また産業技術総合研究所の LCA 活用推進コンソウシウムや産業環境管理協会の LCA 事務局の助けも借りながら対応しています。

LCAF では、新しい LCA/CFP 人材を育てる研修を実施することと平行して、私を含む LCAF のメンバーが培ってきた知見が役に立つように、新しく LCA のコンサルを始める企業さんとの連携・ネットワークを作ってゆきたいと思っています。

一雨ごとに紫陽花の花が大きくなります。生け垣の竹の新芽もぐんぐん伸びます。早くしないと大きな竹林になってしまいます。桃の実も色づき始めました。また今年も「猛暑」になりそうですが、実り多い秋を迎えることができるように庭仕事に精を出したいと思っています。

(LCAF 理事長 稲葉 敦)

ご意見,ご感想,この「LCAF 通信」の配信停止のご連絡はこちらまで
lcaf-contact@lcaf.or.jp

一般社団法人 日本 LCA 推進機構

Japan Life Cycle Assessment Facilitation Centre (LCAF)

(エルカフと呼んで(読んで)ください)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-36-7

アルテール池袋 608

電子メール : lcaf-contact@lcaf.or.jp

URL:<https://lcaf.or.jp/>